

秋

白秋全集
3

詩集
3

白秋全集 3

第六回配本(第1期 一・二四卷)

一九八五年五月七日 発行

定価四〇〇〇円

著 者 北 原 白 秋

発行者 緑 川 亭

〒101 東京都千代田区一ツ橋二丁目五
番 行 所 鐵 岩 波 書 店

電話 〇三六五二
振替東京六三六四〇

落丁本・乱丁本はお取替いたします

目次

『東京景物詩 及其他』

東京夜曲	．．．．．	七
公園の薄暮	．．．．．	八
鶯の歌	．．．．．	一〇
夜の官能	．．．．．	二
片恋	．．．．．	四
露台	．．．．．	五
S組合の白痴	．．．．．	七
雑草園	．．．．．	八
瞰望	．．．．．	三
心とその周囲	．．．．．	六
I 窓のそと(二六)		
II S組合の白痴(二九)		

Ⅲ 泣きぐさ(三)

Ⅳ 銀色の背景(三)

V 神経の凝視(四)

物理学校裏

骨なし児と黒猫

雪ふる夜のころもち

解雪

青い髻

青い髻

五月

銀座花壇

六月

新聞紙

畜生

隣人

雨の気まぐれ

葱の畑

八月のあひびき

哭

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

罌

秋	七
槍持	七
おかる勘平	八
雪の日	八
種蒔き	八
忠弥	八
歌うたひ	九
槍持	九
CHONKINA	九
鬼百合	九
道化もの	一〇
あそびめ	一〇
南京さん	一〇
蝮捕り	一〇
雪と花火	一一
夜ふる雪	一二

柳の左和利	二四
春の鳥	二六
かるい背広を	二六
薄あかり	二七
金と青との	二八
雨あがり	二〇
水盤	三二
心中	三三
花火	三三
放埒	三三
紫陽花	三六
カナリヤ	三〇
彼岸花	三二
もしやさうでは	三二
片足	三三
あらせいとう	三四
あかい夕日に	三三

銀座の雨	一七
銀座の雨	一八
雪	一九
冬の夜の物語	二〇
キャベツ畑の雨	二一
蕨	二二
涙	二三
新生	二四
黄色い春	二五
汽車はゆくゆく	二六
梨の畑	二七
河岸の雨	二八
そなた待つ間	二九
薄荷酒	三〇
白い月	三一
芥子の葉	三二

余言	一七
----	----

『東京景物詩及其他』増補

〔『雪と花火』〔東京景物詩及其他』改題〕

緑の種子	一八
緑の種子	一四
棗の樹	一五
人食ふひと	一七
ペンギン	一六
万年青	一三
悲みの奥	一三
夕とどろき	一三
石竹	一六
屋根の風見	一六
初冬のわかれ	一七
黒ダリヤ	一九
春を待つ間に	二〇

雪と花火余言	二〇一
--------	-----

〔アルス刊『白秋全集』第二巻〕

浅草哀歌	二一一
庭園の雨	二一四
暮	二一七
風見	二二五

『真珠抄』

真珠抄 短唱	二二五
永日礼讃	二二五
源吾兵衛	二二七
月光礼讃	二三六
巡礼	二三九
雪の山道	二三九
幼帝	二四〇
金	二四〇

煙	二二
澤	二二
泳ぎ	二二
つまづき	二二
乾草	二二
秋日小韻	二二
卓上	二二
蛇の舌	二二
子ども	二二
深夜	二二
海底	二二
正覚坊	二六
玉蜀黍	二六
途上所見	二六
真珠抄余言	二六

『真珠抄』増補

〔アルス刊『白秋全集』第三卷〕

第二真珠抄	二四
-------	----

ほのかなるもの	二四
---------	----

『白金之独楽』

白金之独楽序品	二五
---------	----

白金礼讃	二六
------	----

白金ノ独楽	二六
-------	----

真言	二六
----	----

千手ノ独楽	二六
-------	----

生命	二六
----	----

苦惱礼讃	二六
------	----

掌	二七
---	----

邪淫戒	二七
-----	----

姪樂二品 二六

姪樂(二六〇) 仏足(二七〇)

白金ノ啞 二七〇

暹羅仏 二七一

鳩 二七二

開眼 二七三

白金交感 二七五

究竟 二七四

麗日詩鈔 二七五

麗日悸音 二七六

日光四章 二七八

惡心ノ時 二八〇

恋慕妙諦 二八二

昆虫成仏三曲 二八三

一コホロギ(二八三) 三蠅(二八四)

二キリギリス(二八四)

薔薇二曲 二八五

鳥獸哀歎	二八六
笛	二八七
子ドモ	二八七
機縁二曲	二八八
十方法界	二九一
カネタタキ	二九二
林檎	二九三
水面	二九四
天魔墜落	二九五
鴉	二九五
魚	二九六
鳥	二九七
煙	二九七
薦	二九八
虫	二九八
空	三〇〇
風	三〇二

白金小景	三〇三
麗日展望	三〇四
天ノ雪	三〇四
峠	三〇五
北斎	三〇六
白鷺	三〇七
佇立	三〇八
汽車	三〇八
草木迅走	三〇九
人	三一〇
ヤサイ	三一一
ヲガハ	三一一
カゼ	三一二
ナガメ	三一二
ツナデ	三二三
現身鈔	三二四
罪人	三二六

野　　晒	三六
鋪	三八
ナマジオモヘバ	三八
苦シケレバコソ	三九
嘘	三九
自愛一篇	三〇
真　　実	三〇
ヒトツ星　童謡ニ和シテ	三二
他ト我	三二
フタツノ鏡	三三
肖像	三三
幻　滅	三三
現	三三
凡夫開眼	三四
涙	三四
壺二曲	三五
男ト女ト	三六
一　　偈	三六

酒	三六
ビール樽	三七
ノンダクレノクダ	三八
酔ッバラヒノ昇天 童話	三〇
金	三〇
貧者	三一
乞食	三三
吉日	三三
巡礼	三四
白金之独楽奥書	三五

『白金之独楽』増補

〔アルス刊『白秋全集』第三卷〕

疲レ	三六
夏	三六
影	三〇
光ノミ	三〇